

1995年(平成7年)3月10日(金曜日)

東京新聞

「ヒス反対」古いのかしら

埼玉県 母親

高1の娘が、耳にヒスの穴をあけたがっついてます。でも、私は反対です。親からもらった体はできるだけ、傷つけない方がいいと思っっているからです。イヤリングならいいのです。こんな考え方はもう、古いんじゃないですか。

教育
110番
03(3471)7270
午前9時30分～午後7時

あなたへ

「ヒス反対」古いのかしら(10日付)の母親へ

東京都 母親

このお母さんの考え方が古いとは思いません。私も子供にヒスはしてほしくありません。しかし、今は開きを見るとみんなしてありますね。高1の娘の子は「社会人になったらヒスなんかしなさいんだか

ら、今の間だけいいですよ」と言いながら、やっつけています。

※このほかにも「ヒスは化粧のうしろ、耳の後ろに刺さって抜けなくなる」とか「ヒスはたたくさんのツボがある」とか「ヒスは高1の娘に言ったら、お母さんはたたくさんになり、友人にもやめると勧めようになった」とか(東京都 母親)などの意見がありました。

「ヒスをした園児に驚き

埼玉県 母親

最近、高校生のヒスが話題になってますが、うちの子ども幼稚園には、ヒスをした園児がいるんです。その子のお母さんもヒスをしています。いま若いお母さんって、いったい何を考えて子どもにヒスなぞさせるのか、と恨みますね。もうこの子が耳にヒスの穴をあけたい、と言いだしたら「こんでもない」と反対しますけれど。

1995年(平成7年)3月13日(月曜日)